

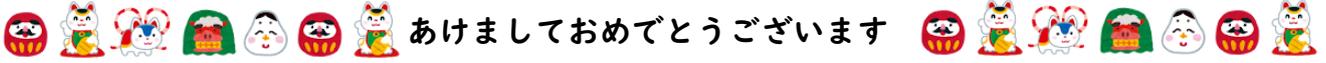


The Japanese School of Melbourne

メルボルン日本人学校だより

令和7年度
1月号
2026.01.12

めざす子ども像 *進んで学ぶ子 *心豊かで思いやりのある子 *たくましい子, やりぬく子



2026年(令和8年)の幕が開けました。今年は午年(うまどし)で、十干十二支では「丙午(ひのえうま)」にあたります。始業式に子供たちにも「丙午」の話をしました。丙午は火の象徴である「丙(陽の火)」と「午(陽の火)」が重なる60年に一度の特別な干支で、真夏の太陽のような輝きや強い情熱・行動力を表し、力強く前向きなエネルギーをもつ年だと捉えられています。「これまでの迷いを断ち切り新たな挑戦をするのに適している」「新しい流れを生みやすく、物事が一気に動き出す」とも言われていますので、干支にあやかって挑戦と成長の一年にしていきたいと思ひます。

メルボルン日本人学校は、2名の新しい仲間を迎え、児童生徒数37名で、7日に3学期がスタートしました。夏休みの間、静かだった教室に明るく元気な子供たちの声が響いています。「命を大切にすゝる」という宿題をみんなが守って、無事に始業式が迎えられたことを、本当にうれしく思ひます。

3学期の授業日はたった45日(G6とG9は41日)しかありません。限られた日々を大切に過ごし、どの学年も本年度の締めくくりをしっかりと行いたいと思ひます。「3学期は次の学年の0学期」とも言われます。この3学期をどのように過ごすかで、次の学年での子供たちの成長が変わってきますので、学校では毎時間の授業を充実させて来年度へとつなげていきます。

子供たちには、「新しい年の目標を立てよう」と伝えました。きっと子供たちは、自分の目標をしっかり立てることができていると思ひます。始業式でも3名の代表児童生徒が、堂々と自分の目標や抱負を発表してくれました。自分の目標や夢をもつことは素晴らしいことです。そしてそれに向かって努力することで、自分の力を伸ばし、成長することができます。私たち教職員一同、そんな子供たちに寄り添いながら、より一層頑張りたいと思ひております。本年もこれまで同様、ご家庭の温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。



校長 小橋 幸代



児童生徒数(2026年1月7日現在)

学年	小学部								中学部				合計
	P	1	2	3	4	5	6	計	7	8	9	計	
男	5	2	3	2	3	3	1	19	3	1	1	5	24
女	1	1	1	1	4	2	1	11	1	0	1	2	13
計	6	3	4	3	7	5	2	30	4	1	2	7	37

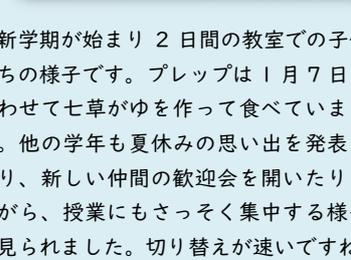
3学期の合言葉は
「苦手は克服
得意は伸ばす
未来へGO！」

1月7日 3学期始業式



3人の児童生徒代表が堂々と今年頑張りたいことなどを発表しました

新学期の一コマ



新学期が始まり 2 日間の教室での子供たちの様子です。プレップは 1 月 7 日に合わせて七草がゆを作って食べていました。他の学年も夏休みの思い出を発表したり、新しい仲間の歓迎会を開いたりしながら、授業にもさっそく集中する様子が見られました。切り替えが速いですね。さすがはメル校の子供たちです。

お知らせ

★在メルボルン日本国総領事館からのご案内

メルボルンに住む全ての邦人に向けて、総領事館において JAMSNET メルボルンの日本人医師が医療相談会を開催します。参加ご希望の方は以下よりお申し込みください。

[医療相談会開催について \(1 月 13 日\) | 在メルボルン日本国総領事館](#)

★公益財団法人 JAL 財団様より「地球人講座 in アジア・オセアニア」のご案内

公益財団法人 JAL 財団は、国や文化の枠を越えて地球規模で考え行動できる「地球人」育成を目指しています。様々な国の仲間と協力して重要なミッションにあたる金井宇宙飛行士によるオンラインの特別講演にぜひ参加ください。



講師：金井 宣茂氏 JAXA 宇宙飛行士

タイトル：「宇宙から見た地球」

日時：2026年2月1日（日）メルボルン時間15時～

対象：アジア・オセアニアにお住いの日本人学校・補習校・現地校の児童、生徒のみなさま

申込はこちらから

<https://www.jal-foundation.or.jp/jp/global-program/2025/>